

私のイチ押し 三菱のジェットストリーム0.7mm

ペンだこより銀だこ

数年前、BIC オレンジというかつて世界的なベストセラーであったボールペンが日本から姿を消し、話題となりました。

日本の筆記具は漢字という画数の大きな字を書くためもあり、独自の進化を遂げているようです。万年筆など、外国製品のEF(エクストラ・ファイン極細)は日本ではただの細字程度でしかありません。パイロットのこすると消えるフリクションなどの斬新な製品、またアニメ・キャラクターの描かれたものなどもあり、筆記具あさは楽しくてやめられません。

そんな中、私のイチ押しのボールペン、それは三菱のジェットストリーム0.7mmです。インクの出が良く、まるで氷上を滑るように文字がすいすいと書けます。ペン先の太さは若干太めの0.7mm。0.5mmもありますがインクの出が少ないため、たまにストレスを感じます。家族全員これがイチ押しで、皆さんに自信を持ってお勧めできる逸品です。

ところが一つ気に入らない点があります。デザインです。普及タイプはとも安っぽくて野暮ったい。高級タイプ、と言ってもヨドバシさんにて1,650円ほどで買えるボディ、こちらはなぜか青い宝石のようなプラスチックがついていてちょっとがっかり。

そこで机の中で休んでいる他社製の名入りボールペンなどを引っ張り出し、ジェットストリームの替え芯が使えるかどうか、片っぱしから試してみました。するとどうよ、ZEBRAのSARASA、これも書きやすい水性のジェルインクですがこのボディにぴったりと収まりました。こっちの方が断然良い。テンションが上がります。ちなみにSARASAの替え芯は太いためジェットストリームのボディには入りません。

ネットで探すとスヌーピーやスパイファミリーのアーニャ柄もあり、月報に書くため、とかなんとか理由をつけて大人買い！仕事をするのが楽しくなります。

また、細字を書くときに愛用しているぺんてるのエナージェル、油性と水性のハイブリッドタイプ、こちらにもすっぽりと収まりました！普及品はメタリックなデザインで断然こちらの方がいいです。ちなみに、私の知人で雨冠の下に鶴と書いて鶴見さんという方がおり、このペンを愛用しておりました。普通のペンでは名前が書けないそうです。お察しします。尚、このレフィルもジェットストリームのボディには太くて収まりませんでした。

発見も多く楽しかったのですが夜も更けてまいりましたので、この辺でペンを置きます、じゃあなかったパソコンの電源を落とすか。風情がないなあ。っていうか全くボールペン使わないんですけど!?



JETSTREAM



SARASA



ENERGEL